

## 部活動の地域移行の概要について（再整理）

### ◆ 「部活動の地域移行」とは・・・

これまで学校が主体となっていた部活動を、  
地域が主体となって活動する地域クラブに運営や指導を移行していくこと

### ◆ 「部活動の地域移行」の背景（＝学校部活動をとりまく問題）

#### ① 少子化

生徒数の減少による学校部活動の部員不足が、学校単位でのチーム編成の可否や、活動数の減少などに影響する。

#### ② 学校教員への負担

部活動への指導参加が、本来の業務（授業準備など）の支障になっている。  
休日出勤も多いことから休養が思うようにとれず、精神・身体的負担を訴える声もある。  
負担の多さ、少子化の問題も重なって、教員志望者数の減少に影響している。

⇒ 学校部活動を継続していくことが困難な状況にある

この状況を解消していくため、部活動の地域移行に関する方針を国が提示。

### ◆ 地域移行の「利点」と「課題」について

#### 「利点」

- ・ 活動の選択肢の増加
- ・ 専門的な指導が受けられる
- ・ 学校外の交流の場が生まれる
- ・ 地域の活性化
- ・ 教員の働き方改革



#### 「課題」

- ・ 運営主体、実施主体の確保
- ・ 指導者、活動場所の確保
- ・ 受益者負担（費用、送迎）
- ・ 責任、安全管理
- ・ 大会・コンクール等の在り方

### ◆ 地域移行後に目指す姿（スポーツ庁の方針）

学校部活動を継続していくことが困難な状況



子どもたちが、スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保する

- ・ 令和5～7年度を改革推進期間とし、「休日の部活動」から段階的に地域に移行する
- ・ 利点、課題がある中、地域の実情に応じ、できるところから取組む

#### 【活動のカタチ】

- ・ 競技、大会志向で特定の種目や分野に専念する活動
- +
- ・ 生徒の志向や体力などの状況に適したスポーツ・文化芸術に親しむ活動機会の確保  
（例）複数の種目を経験できるような活動、レクリエーション的な活動